事業主 様

令和7年８月
大阪紙商健康保険組合

ピロリ菌検査のご案内

除菌は早目が効果的！

― 今まで一度も受けていない方、ぜひご受診ください―

平素は健康保険組合の運営につきご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
当健康保険組合では健康管理の一環として、今年度もご家庭で簡単にできる
『ピロリ菌検査』 を実施・斡旋いたします。
下記の要領をご熟読いただき、お申込みくださいますようお願いいたします。

記

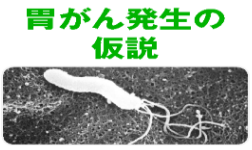
1.検査対象者および検査費用	①年度内に30歳になる本人または家族（**平成7年4月2日～8年4月1日生まれ**） ・・・無料（全額健保組合負担） ②その他の年齢の本人または家族で希望される方 ・・・3,850円（税込：全額自己負担） ＊本検査で、過去に「陰性」の結果が出た方は、原則申し込む必要はありません。 ただし、自覚症状や気になる症状がある方は医療機関を受診されることをお勧めします。
2.申込方法	①の対象者で受診希望者は、同封の「30歳対象者リスト」に必要事項を記入してください。 ②の対象者で受診希望者は、同封の「申込表」に氏名等必要事項を記入してください。 必要事項を記入した「30歳対象者リスト」および「申込表」を健保組合に郵送してください。
3.申込締切日	**令和７年9月17日(水)　健保組合必着**
4.器具の送付	①年度内に30歳になる方 10月初旬以降に、ご自宅に検査機関から採取器具が郵送されます。 ②その他の年齢の方 10月初旬以降に、ご自宅に検査機関から検査費用の振込用紙が届きます。 その振込用紙にてコンビニまたは郵便局でお振込みください。 (振込手数料は個人負担です) 入金確認後、採取器具がご自宅に郵送されます。
5.検体の提出	説明書をよく読んで採取していただき、問診票と採取した器具を同封の封筒に入れて、検査機関に郵送してください。（切手不要）
6.検体締切日	**令和７年11月29日(土)　消印有効**
7.検査結果	検体到着後約2週間でご自宅に郵送されます。
8.検査機関およびお問合せ先	〒604-0827　京都市中京区高倉通二条下ル瓦町550　メスプビル内 メスプ細胞検査研究所（京都府登録衛生検査所第38号） ＴＥＬ（０７５）２３１－２２３０
9.注意事項	採取器具を受取後提出されなくても、検査費用の返金はできませんのでご了承ください。

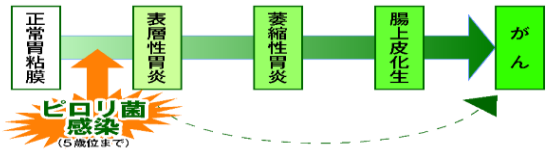
お申込みからの流れ

申込む（9月17日締切）
→ 検査対象者②の場合のみ：振込用紙到着後、費用の支払い
→ 自宅に採取器具が届く
→ 採取して検査機関へ送る（11月29日締切）
→ 自宅に結果が届く（約2週間後）
→ 所見なし（今後も定期健診）
→ 所見あり（病院へ〔紹介状の作成 相談受付〕）

必ず受けましょう！
ピロリ菌検査
ー自宅で、ご都合のいい時にできますー

ピロリ菌感染が胃がんを引き起こす！





検査は簡単
ー日の便を採取するだけ

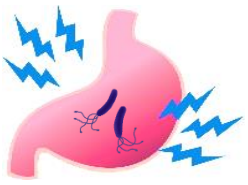
ピロリ菌採取器具

胃に住む細菌で、免疫力の弱い5歳くらいまでの間に感染し、除菌治療をするまで感染は持続します。ピロリ菌感染により胃の粘膜が傷つけられ、やがて慢性萎縮性胃炎を経て、胃・十二指腸潰瘍や胃がんを引き起こすことが解明されています。大人になって感染することはほとんどありません。

検査結果が「陽性」だったら？

検査結果が「陽性」だからと言って、胃潰瘍や十二指腸潰瘍等が必ず発症するわけではありません。しかし、ピロリ菌除菌の治療を行うことで、潰瘍の再発防止、胃がん発症のリスクが低下するなど、胃の状態改善が期待できます。
胃潰瘍や十二指腸潰瘍、胃炎と診断された場合、ピロリ菌の除菌には健康保険が適用されます。（その際には、内視鏡検査が必須です。）

除菌は
早めが効果的！



☆☆ 除菌治療は、年齢が若いほど効果的です！☆☆

ピロリ菌検査 受けないまま放置していませんか？

こんな人はぜひ受診を

- □ 胃の調子が何となく悪い
- □ 家族に胃がん・胃・十二指腸潰瘍にかかった人がいる
- □ 家族がピロリ菌に感染している（感染していた）
- □ 最近、みぞおち辺りに痛みを感じたことがある
- □ 食欲が落ちた
- □ 胃のもたれ感が強くなった気がする
- □ 吐き気を感じることがある
- □ 嗜好品の変化を自覚している
- □ 濃い味を好む
- □ 野菜の少ない食生活をしている
- □ 喫煙者である（であった）

<個人情報の取り扱いについて>
受診される方の個人情報は、本検診を提供する目的に限り利用します。
また、受診する方の個人情報を事前の承諾等を得ず、
第三者に提供・開示することはありません。

【注意事項】
・郵送検診は自覚症状ない方を対象にしています。すでに自覚症状や気になることがある方は医療機関をご受診ください。
・郵送検診はスクリーニング検診（一次検診）であり、検診結果は病名を診断するものではありません。「要精密・陽性」の結果が出た場合は、速やかに医療機関を受診されることをお勧めします。
・郵送検診の検査結果のみで病名を判断できるものではありません。「異常なし・陰性」の結果の方も、自覚症状や気になることがある方は医療機関を受診されることをお勧めします。